

糖尿病・甲状腺専門外来を開設

地域に根差したかかりつけ病院に



「できるだけ時間をかけて丁寧に診察したい」と話す湯口理事長

一般内科から専門外来まで幅広い疾病の診察に対応

苫小牧市内では数少ない糖尿病専門医、内分泌専門医が常勤する同院。2023年7月に糖尿病や甲状腺疾患を専門とする湯口（旧姓高野）氏を新理事長に迎えて、「糖尿病・甲状腺専門外来」を新設し、新体制での診療を開始している。従来的一般内科と合わせて、地域のかかりつけ病院としての役割が期待される。

一般内科では経験豊富な福田健文院長が風邪などの体調不良から生活習慣病まで丁寧に診察。湯口理事長が担当する糖尿病内科では早期発見はもとより、糖尿病療養指導士（CDE）、栄養士、苫小牧市糖尿病コーディネーターが多面的に患者をサポートする。また、甲状腺疾患についても専門的な治療を行う。湯口理事長は苫小牧市立病院の出張医と



エコーをはじめ検査や診断に必要な機材を備えた処置室



理学療法士による運動療法や物理療法、指導を行うリハビリテーション室

して週1回、糖尿病外来、内分泌外来を担当しており、地域のかかりつけ病院として同院との連携を強化。疾患に対する知識の普及にも注力するうえで、「糖尿病、甲状腺ともに患者数は増加傾向にあり、専門医による早期発見・治療が大切。疑わしい症状で不安のある方はぜひ当院で受診を」と呼び掛ける。

回復期に対応する病棟を完備

また、苫小牧市立病院など中核医療機関や介護施設との連携体制も充実。療養型病棟（59床）では急性期病院の退院患者や慢性期、認知症患者を受け入れ、理学療法士によるリハビリテーションや運動療法の指導などを通して患者の自宅復帰を目指す。湯口理事長は「専門外来を軸に、地域に求められる医療機関としての役割を追求したい」と話している。

理事長 湯口 善成

札幌市出身。早稲田大学社会科学部卒、帝京大学医学部医学科卒。JCHO北辰病院、滝川市立病院、北海道大学病院内科II、独立行政法人国立病院機構北海道医療センター、国家公務員共済組合連合会 斗南病院などに勤務。日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会専門医、日本内分泌学会 内分泌代謝科（内科）専門医、内分泌代謝・糖尿病内科領域専門研修指導医、日本糖尿病協会糖尿病認定医。

医療法人社団眞和會 苫小牧病院

☎(0144)72-1201



苫小牧市光洋町3丁目16番4号

←ホームページはこちらから

内科、糖尿病内科・内分泌内科

診療時間／
月～金 9:00～17:00
土 9:00～12:00
受付時間／午前受付11:30まで
午後受付16:30まで
休診日／土曜午後・日・祝日
<糖尿病・内分泌内科外来>
月 13:30～16:30
火・木・金・土 9:00～11:30

